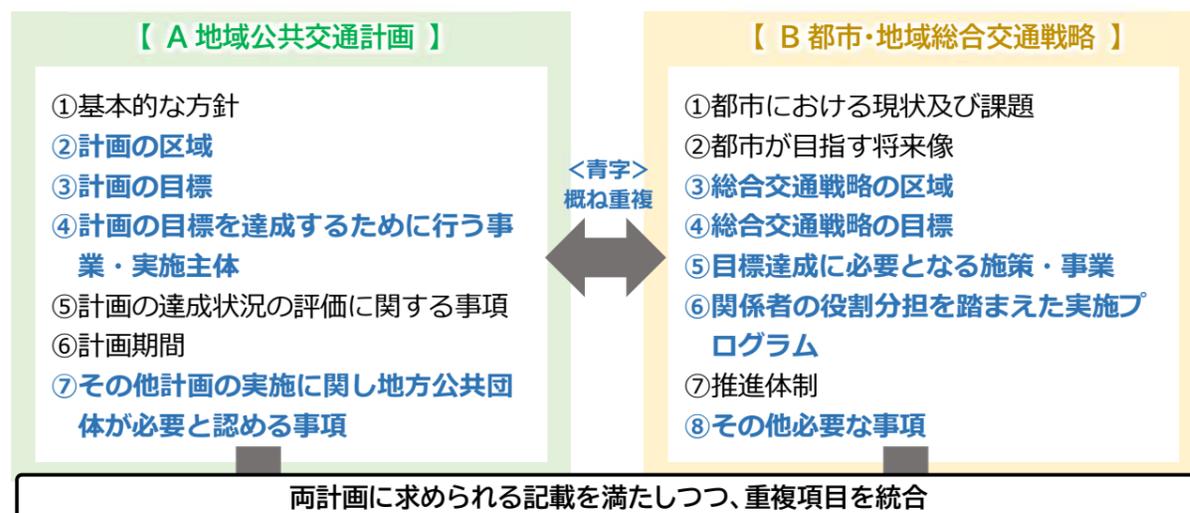


川越市総合交通計画の方向性について

- ・地域公共交通計画は「**地域公共交通の活性化及び再生に関する法律**」、都市・地域総合交通戦略は「**都市・地域総合交通戦略要綱**」において、**両計画で記載が求められる事項が示されています。**
- ・両計画で記載が求められる事項は、以下のとおりであり、**多くの項目での重複**がみられます。そのため、**重複する事項を統合するとともに、求められる事項を網羅した計画書として、以下の構成を想定**します。

【 両計画で記載が求められる事項 】



【 川越市総合交通計画の構成(案) 】

序章 計画概要	計画の概要、役割・趣旨、位置づけ、計画区域、計画期間等を示す (A②⑥・B③対応)
第1章 現状・課題	都市の現状と課題を示す (B①対応)
第2章 将来都市像	目指す将来都市像(目指すべき都市と交通のあり方)を示す (B②対応)
第3章 基本方針・基本目標	将来都市像を実現するための基本方針と基本目標を示す (A①③・B④対応)
第4章 基本目標達成のための施策	基本目標を達成するための具体的な施策、実施主体、事業スケジュール等を示す (A④・B⑤⑥対応)
第5章 進行管理	計画の進捗状況を測る評価指標や目標値、推進体制を示す (A⑤・B⑦対応)

【 目指す将来都市像の構成イメージ 】



主な現況と課題

「地域公共交通計画」「都市・地域総合交通戦略」の区分で、川越市の交通にかかわる現況と課題を整理します。

【 交通にかかわる主な現況と課題 】

**川越市の交通にかかわる現況と課題を
以下の調査で把握**

①現状分析

- **社会情勢等**
 - ・ 社会情勢
 - ・ 交通技術
 - ・ 法令
- **地域の特性**
 - ・ 人口
 - ・ 主要施設
 - ・ 土地利用
 - ・ 交通基盤
 - ・ 移動実態
- **市内の移動手段の現状**
 - ・ 鉄道
 - ・ バス
 - ・ タクシー
 - ・ 川越シャトル
 - ・ かわまる（デマンド型交通）
 - ・ 移動に関する福祉施策（重度心身障害者福祉タクシー利用券等）
 - ・ 民間の輸送資源
 - ・ 自転車シェアリング
- **類似自治体の移動手段の現状**

②上位・関連計画と本計画の位置づけの整理

- ・ 第五次川越市総合計画
- ・ 川越市都市計画マスタープラン
- ・ 川越市立地適正化計画
- ・ みんなでつくる 福祉のまち川越プラン 等

③公共交通に関する意向調査

- ・ 18歳以上の市民3,000人を対象に実施
- ・ 12地域ごと250人を無作為抽出
- ※調査票案は資料●参照

④ヒアリング調査

- ・ 交通事業者、関係団体を対象に実施



		現況	課題		
地域公共交通計画 関連	主にソフト (路線) 	(公共交通ネットワークについて)	・		
		・	→	・	
		(公共交通利便性の低いエリアについて)	・	→	・
		・	→	・	
都市・地域総合交通戦略 関連	主にハード (駅前広場・乗継拠点、周辺の歩行環境) 	(役割分担について)	・		
		・	→	・	
		(乗務員不足について)	・	→	・
		・	→	・	
2計画共通	主にハード (道路) 	(拠点等の交通基盤整備について)	・		
		・	→	・	
		(拠点間等をつなぐ道路ネットワークについて)	・	→	・
		・	→	・	
2計画共通	主にソフト (利用促進)	(産業を支える道路ネットワークについて)	・		
		・	→	・	
		・	→	・	
		・	→	・	
2計画共通	主にソフト (情報発信)	(公共交通利用促進について)	・		
		・	→	・	
		(情報発信等について)	・	→	・
		・	→	・	



地域毎の現況・課題を今後分析・整理予定 ※作成イメージは次頁参照

地域別カルテ 作成イメージ

※カルテ中の記載は例示として古谷地域に関する内容を整理

地域概況

- 【位置】本市の東部に位置し、国道 16 号を介してさいたま市方面からの玄関口となる地区である。
- 【地形】なだらかな低地が広がり、東側は入間川や荒川の広い流域に接する。
- 【土地利用】優良農地が広がる市街化調整区域となっており、古くからの田園住宅地が広がっているほか川越グリーンパークが立地している。
- 【人口】地域人口は 10,518 人（全市に占める割合 ●%）である。老年人口は●●人で、高齢化率は 32.2%であり、市平均と比較して高い。

一覧で整理を想定

- 【都市機能】グリーンパーク以外は商業施設へ 300m 圏外である。医療施設は北側に隣接して埼玉医大が立地している。
- 【拠点】最寄りの拠点設定箇所は「南古谷駅周辺」である。

交通基盤

- ・地区の主要な幹線道路である国道 16 号では、朝夕等に渋滞が発生し、これに伴う生活道路への車両流入が見られます。

《道路整備の状況》

道路網図を作成

公共交通ネットワーク

- ・地域内に鉄道駅はなく、最寄り駅は JR 川越線の南古谷駅となり、地域のごく一部が南古谷駅の徒歩利用圏域に含まれている。
- ・路線バスは、本川越駅及び川越駅と川越グリーンパークを結ぶ路線がある。
- ・川越シャトルは、南古谷駅と埼玉医大を南北に経由する 40 系統と 41 系統がある。
- ・かわまるは、地区 1 に属する。

人口分布、施設立地、公共交通ネットワーク、シェアサイクル、
その他輸送資源の重ね図を作成

移動特性

● 移動手段

- ・ 代表交通手段
- ・ 主に利用する鉄道駅
- ・ 鉄道駅への移動手段
- ・ 川越シャトルの利用状況
- ・ かわまるの利用状況 等

● 地域内の移動状況

- ・ 地域内の人の動き（発生・集中）
- ・ 目的別の外出方面 等

住民意向

● 市民意向

- ・ 道路交通体系の整備に対する満足度・重要度
- ・ 公共交通ネットワークの充実に対する満足度・重要度
- ・ 公共交通の今後のあり方（市が力を入れるべきもの）
- ・ 新たな移動手段の導入意向
- ・ 自ら協力できること
- ・ 各移動手段のサービス水準の許容範囲
- ・ 運転免許証の自主返納意向 等

地域の現状・問題点及び課題

	地域の現状・問題点	→	地域の課題
地域公共交通 計画関連		→	
都市・地域 総合交通戦略 関連		→	
2 計画共通		→	